

2024年10月1日

公益財団法人日本バドミントン協会

## 日本代表ナショナルチームに関するお知らせ

平素より、日本バドミントン協会の活動へのご支援ありがとうございます。

この度、日本バドミントン協会（東京都新宿区、会長：村井満、以下「本会」）は、2025年よりバドミントン日本代表ナショナルチームヘッドコーチに新たに大堀 均氏が就任することをお知らせいたします。

バドミントン日本代表は、オリンピック競技大会へバドミントン競技が正式採用されました、1992年のバルセロナオリンピック以降、多くの選手を大会に輩出してまいりました。そして2012年のロンドン大会でバドミントン競技初のメダル獲得。そして、2016年のリオデジャネイロ大会での初の金メダル獲得と、成長を続けてまいりました。先のパリ大会でも、日本初の2大会連続でメダルを獲得する成績を収めております。

本会では、今後も世界トップクラスで多くの選手を育成し、2028年ロサンゼルスオリンピックを始め、多くの国際大会で安定した活躍をする選手を輩出すべく、トップカテゴリーの強化事業を進めて行くと共に、世界を目指し将来の日本代表を担うジュニア世代の強化育成活動にもより一層取り組んでいき、国際競技力向上を目標として活動してまいります。

今後については、現ナショナルチームのヘッドコーチを務める朴柱奉氏は12月までヘッドコーチとして活動した後、1月からはアドバイザーとしてナショナルチームをサポートいただきます。

新体制に関しては大堀均氏も含めた本会強化本部を中心として、2025年1月からの新体制スタートに向けて年内からコーチ体制/代表チーム構想の検討を進めてまいります。

本会では、スポーツを通じて「こころが躍る・豊かな」世界を創ることを目指し、「健やか（心身の健康/ウェルビーイング）」「育む（豊かな人間性）」「つなぐ（多様性の受容/分断からの脱却）」をキーワードに、トップアスリートの強化から、ジュニア世代の育成、老若男女幅広い方々へのバドミントンの普及などに、引き続き取り組んでまいります。

【新ヘッドコーチプロフィール】

大堀 均（おおほり ひとし） 1968年7月6日生まれ（満56歳）栃木県出身。  
大学卒業後、トナミ運輸に在籍し選手として活躍後、2006年に富岡高校に赴任。  
同校のバドミントン部の監督を務め、全国大会で団体・個人あわせて40回もの優勝に導いた。  
2017年からトナミ運輸のコーチを務め、2020年からジュニアナショナルチームのコーチ、2022年からジュニアナショナルチームのヘッドコーチを務めている。

東京／パリと2大会連続でオリンピックメダルを獲得した渡辺勇大／東野有紗ペアをはじめ、男子シングルスで日本人初の世界ランキング1位に輝いた桃田賢斗選手など、多くの日本代表選手のジュニア時代の指導に携わっており、ジュニアの強化・育成において日本バドミントン界の発展にご尽力いただいております。

※指導歴のある主な東京・パリオリンピック代表選手

桃田賢斗／保木卓朗／小林優吾／大堀彩／東野有紗／渡辺勇大

【大堀均氏コメント】

来年よりナショナルチームヘッドコーチの任を仰せつかりました。  
長きにわたり、日本バドミントン界を牽引されてきた朴柱奉ヘッドコーチに改めて敬意を表します。  
「今日という日は 残りの人生 最初の日」私の好きな言葉です。この言葉を胸に、4年後のロサンゼルスオリンピックに照準を定め、より強靱なナショナルチームの組織づくりや、選手個々の目標達成のための取り組み、そして日本バドミントン界のさらなる発展のために日々精進してまいります。  
今後とも、よろしくお願いいたします。

《本件に関するお問い合わせ》

公益財団法人日本バドミントン協会

広報担当：有村／加藤

mail：press@badminton.or.jp